

●一次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		判定率 (%)	結果判定数 (人)			
		受診率 (%)	うち県外 受診		判定区分別内訳 (割合 (%))		二次検査対象者	
					A		B	C
合計	129,007	11,781(9.1)	4,262	11,674 (99.1)	A1 4,952(42.4)	A2 6,087(52.1)	B 635(5.4)	C 0(0.0)

A判定：94.6%

●二次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		確定率 (%)	結果確定数 (人)			
		受診率 (%)			次回検査		通常診療等	
					A1	A2	うち細胞診受診者	
合計	635	523(82.4)		500(95.6)	5(1.0)	37(7.4)	458(91.6)	43(9.4)

●細胞診結果

悪性・悪性疑い 22人 男性：女性 4人：18人
 平均年齢 25.3±0.7歳（24-27歳）、震災当時15.5±1.6歳（12-18歳）
 平均腫瘍径 14.4±10.7mm（5.3-49.9mm）

●悪性・悪性疑い22人のうち、手術実施14人（乳頭癌13人、濾胞癌1人）

※小数点第一位で示されている割合は、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

第48回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

本格検査（検査3回目）の実施期間中から（2017年度から）、本格検査の一部として、25歳になる年度に実施する検査を開始し、一次検査はこれまで実施した1992年度から1996年度生まれの対象者、二次検査は1992年度から1995年度生まれの対象者に対する検査の結果を示します。

一次検査でA判定は全体の94.6%、B判定は5.4%、A2判定の大半は20mm以下ののう胞、B判定の大半は5.1mm以上の結節、という傾向はこれまでの結果と同様でしたが、対象者の年齢が高いため、B判定率および結節の発見率は先行検査、本格検査（検査2～4回目）と比較して高くなっていました。

二次検査では、穿刺吸引細胞診の結果、22の方が悪性ないし悪性疑いとなっています。

本資料への収録日：2021年3月31日

改訂日：2024年3月31日